

昨秋、本県で開催された第16回全国健康福祉祭（ねんりんピック徳島2003、平成15年10月18日～21日）のイベントの一つである、アステイトくしま内での「歯の健康コーナー」へは、多数の県民のみなさんが来場されました。

「歯磨き指導コーナー」へは、二日目に鎌田啓三県保健福祉部長の先導で、常陸

宮ご夫妻がお越しになり、歯科衛生士による歯磨き指導を見学されました。華子さまからは、

介護ハブラシは快適

ねんりんピック体験コーナー

歯磨き指導を受けていた保育園児にお声を掛けていただきました（写真1）。（写真1）。

前号で紹介した『全介助用口腔ケアシステム』は、「介護ハブラシ体験コーナー」に設置しました。体験を希望された方には、全介助者と同様に実際にベッドに寝ていただき、頭部も動かさない状態で、

『全介助用口腔ケアシステム』を試していただきました（写真2）。

このシステムの詳細は前号に記載していますが、コンプレッサーとバキュームモーターを備えた本体よりチューブを通じて給水・吸水できる電動ハブラシとなっております。「水が出て苦しいという感じはま

ったくなく、適度な水分と電動ハブラシが快適」という感想が寄せられました（写真3）。

大会最終日には、半井敏章県長寿こども政策局長・芝利彦県医師会事務局長とともに、大塚義治厚生労働省事務次官が視察にいられました。県歯科医師会としても、要介護高齢者の口腔ケアの重要性を説明しましたが、大塚次官も熱心にお聞きいただき、これからの厚生労働省の政策に期待しているところです（写真4）。



写真1 見学中の常陸宮さま・華子さまご夫妻(右端は、飯泉嘉門徳島県知事)



写真2 介護ハブラシ体験コーナー

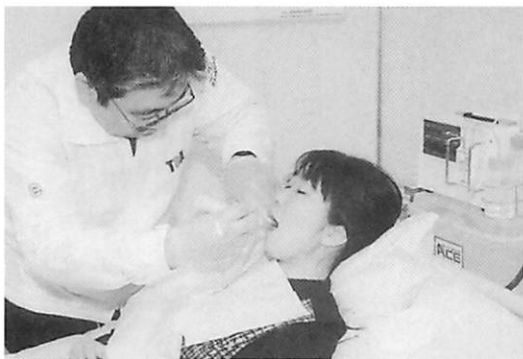


写真3 給水・吸水機能と電動ハブラシを備えた全介助用口腔ケアシステム

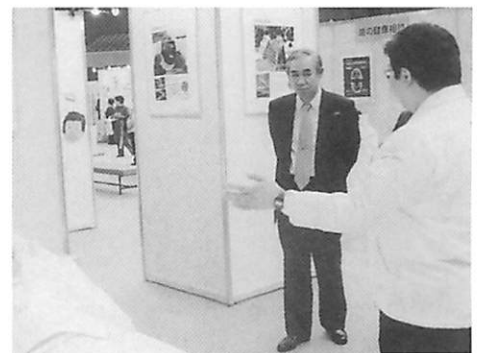


写真4 視察中の大塚義治厚生労働省事務次官

徳島県歯科医師会

口腔ケア支援センター

担当理事 佐藤 修斎

(088) 631-3977